

<b>科目名・単位数</b>	<b>こころとからだの理解(2年次)</b>	<b>( 2 )単位</b>	<b>学習レベル</b>	<b>基礎</b>
----------------	------------------------	----------------	--------------	-----------

学習目標				
① 自立生活を支援するために必要なこころとからだの基礎的な知識を習得する。 ② 高齢者の疾病、様々な障がいや難病について基礎的な知識を理解する。 ③ こころとからだの基礎的な知識と人間の発達と老化について理解し、介護実践に活用する知識を習得する。				
学期	学習内容	学習のねらい	備考	
前期 (4月～10月)	第1章 こころとからだの理解 こころとからだの基礎的理解	人間のこころのしくみ、からだのしくみについて理解させる		
	第2章 生活支援に必要なこころとからだのしくみの理 第3編 人間の成長と発達の基礎的理解 第1章 発達とは 1 発達と老化の理解 2 人間の発達と発達課題 第2章 老年期の理解と日常生活 1 老年期の発達と成熟	生活支援技術に必要な基礎知識としてサービス利用者の日常生活を介助する方法を習得する ・発達と環境の関連性について理解する。 ・人間の発達と発達課題についての、様々な理論家の呈する定義にふれる。 ・エリクソンの心理学的発達モデルを用い、老年期の発達課題を理解する。	ワークシート 演習  ワークシート 演習	
後期 (10月～3月)	第3編 人間の成長と発達の基礎的理解 第2章 老年期の理解と日常生活 2 加齢に伴う心身の変化の特徴 4 高齢者の心理 第3章 高齢者と健康 1 高齢者の疾病と生活上の留意点 2 保健・医療職との連携	・加齢に伴う心身の変化の特徴を、防衛力、予備力、適応力、回復力の面から考察し、理解する。 ・老年期に影響を受けるきっかけとなる喪失体験、他者との感情的対立、病気などについて理解し、その対応について考察する。 ・高齢者の心理の特徴について理解・考察・実践する。 ・高齢者に多い症状とその特徴について理解する。 ・各職種が持つ専門性を理解し、より良い連携の仕方について考察する。	ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート 演習	
	第4編 認知症の理解 第1章 認知症をとりまく環境 1 認知症介護の歴史と理念 2 認知症高齢者の現状と今後 3 認知症に関する行政の方針と施策	・加齢に伴う心身の変化の特徴を、防衛力、予備力、適応力、回復力の面から考察し、理解する。 ・老年期に影響を受けるきっかけとなる喪失体験、他者との感情的対立、病気などについて理解し、その対応について考察する。 ・高齢者の心理の特徴について理解・考察・実践する。 ・パーソンセンタードケアについて理解し、日本の認知症介護に及ぼした影響について考察する。 ・認知症高齢者の現状について理解する。 ・地域における認知症高齢者の支援体制や人材育成の必要性を理解する。	ワークシート ワークシート	
評価の観点と方法				
観点 ① 自立生活を支援するために必要なこころとからだの基礎的な知識を習得することができたか。 ② 高齢者の疾病、認知症、様々な障がいや難病について統合的な理解を深めることができたか。 ③ これからの介護ニーズに対応し、より良い介護を実践できる能力を身につけることができたか。 方法 ① 上にあげた観点を総合的に評価する。				
科書・副読本	教科書:こころとからだの理解(実教出版) 副読本:新・介護福祉士養成講座 発達と老化の理解、こころとからだのしくみ(中央法規出版)			
・道具等	パワーポイント・DVD・人体モデル・ワークシート等			